

8-4-9 河川構造物専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 河川構造物専門委員会の開催

委員会開催回数：6回

技術委員会をはじめ各委員会（SWG 含む）からの報告・連絡、及び、河川構造物専門委員会での取組み内容について、検討・審議を行った。コロナ禍の状況を考慮して全ての委員会を Teams による WEB 会議で実施した。

(2) 照査特別 WG への参画、品質セミナー講師派遣

照査特別 WG へ委員を派遣し、設計ミス防止のための「品質セミナー」に向けて、河川構造物の設計におけるエラー事例の収集と、エラー事例を基にしたテキスト、セミナー用 PPT を作成した。また、今年のセミナーは、ビデオ配信による実施となったため、撮影時の講師を1名派遣した。セミナーでは、河川構造物のエラー事例の紹介とともに、河川計画のエラー事例についても紹介した。そして、河川管理施設の特殊性、新しい設計法への対応、設計時の情報伝達の重要性、設計条件の妥当性確認、会計検査の指摘事項などに関する講演を行い、エラー防止の重要性等について説明した。

(3) 全国建設研修センターへの講師派遣

（一財）全国建設研修センターで開催される「河川構造物設計研修」に対して、平成 21 年度より共催で取り組み、河川構造物の特徴・設計の考え方、基礎工設計・演習、擁壁の構造設計手法、樋門の設計・演習に関する4日間の研修に対してテキストを作成し、講師を派遣した。

(4) 「河川管理施設の点検結果評価基準等検討会」への委員派遣

国土交通省水管理・国土保全局が開催する「河川管理施設の点検結果評価基準等検討会」へ委員を派遣した。検討会は2回開催され、①巡視・点検の連携、②中小河川の維持管理の充実、③点検・評価のさらなる効率化等について意見交換を実施した。令和3年度についても継続して開催される予定である。

(5) 堤防強化技術に関する意見交換会への参加

令和元年台風19号では、越水に対する堤防の被災が多く確認されており、越水に対する堤防強化技術の必要性が高まっている。今後の大規模災害への対応として、本省では堤防強化技術の開発を視野に業界団体との意見交換会を実施しており、建設コンサルタンツ協会にも意見交換会への参加を要請された。河川構造物専門委員会では、本省より提示された堤防強化工法の考え方、工法別の得失等について事前にとりまとめ、意見交換会に出席し越水に対する堤防強化技術について議論した。

(6) 生産性向上 WG、国土地理院 PRISM への参画

生産性向上 WG は設計分野、PRISM は測量分野で、i-Construction の施策である「ICTの全面的な活用」の推進に向けた活動を行っている。今年度からこれをこれに加え、効率的で持続可能な河川管理実現のため、3次元データを活用した河川管理に関する DX 検討チーム（本省、国総研、河川財団）へメンバーを派遣し、測量から設計、設計から施工へのデータのやり取り等に必要の方法や技術について報告した。

(7) その他

主な活動を以下に示す。

- a) 対外活動委員会 WG(水機構)への参画
- b) 維持管理対策 WG への参画
- c) 業務研究発表会 WG への参画
- d) RCCM 自主学习教材改定作業
- e) 河川 CIM ガイドラインの策定委員会への参画

2. 次年度の活動について

- ・照査特別 WG への参画・品質セミナーテキスト作成と講師の派遣
- ・「河川構造物設計研修」講師派遣
- ・RCCM 教材の改訂作業への参画（継続）
- ・各種委員会（CIM 関連等）への参画
- ・基準改定に伴う講習会の企画、開催
- ・災害発生時は、災害対応とその活動報告

（河川構造物専門委員会委員長 伊藤 豊）